

(学年) 第2学年、(教科・科目) 工業科・建築計画

一斉学習

(単元) 建築の寸法と計画

(本時のねらい)

建築計画をする中で人間工学的に基本的な寸法を理解した上で設計施工しなければならない。またそれを基調に計画設計及び全体計画へと発展・展開することになる。そして地域の建築計画に沿えたかどうかを考え理解させる。

(ICT活用方法)

木材や木の枝の具体物を用いて生徒の興味関心を高めるとともに、電子黒板でインターネットや動画配信サイトを利用することで、教科書にない画像や動画を生徒へ提示し、より理解が深まる手立てとして活用する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・机、椅子の寸法と部屋の面積を理解する。	・基本となる寸法を明記し理解させる。	・動画配信サイトやネットを使い参考になる寸法を検索し基準となる寸法を理解する。
展開 30分	・寸法の種類について理解する。 ・具体的な机・椅子・カウンターの寸法を明記する。 ・部屋の面積と建物の構造を理解する。 ・地域への広がりと建築計画を考案する。	・身の回りの長さの基準を設けて概算の寸法を理解させる。 ・人間工学に基づき一区画の面積を理解させる。 ・地域の必要な公共施設のあり方と、人口密度の関係も考慮する。	・電子黒板を利用して動画配信サイトの動画を視聴する。
まとめ 5分	・本時のまとめを聞く。	・本時のまとめをする。	

(授業の様子)



教材投影方法

板書とICT

画面投影

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

- 生徒は動画配信サイト動画を集中して視聴し時折興味を抱いていた。
- インターネットの画像はカラーで、教科書にないものであり、生徒の理解が深まった。
- 短時間でも生徒が一人一台端末で調べ学習をする時間を設けた方がよかった。
- ICTの活用を推進するためにはデジタル教材の充実が必要である。
- 座学ということで教科書中心の授業でしたが、ICT活用により画像・動画を有効に活用でき、実写の見聞が可能となり生徒の理解が深まった。